

タマカタカイガラムシなど

バラ科樹木につくカイガラムシ。ほぼ球形。小豆色。生きているときは黒い斑紋がある。最大長5mm。6～7月頃に枝や細い幹上にみられる。

本州ではウメなどでときどき多発し、枝が枯れる場合もあるとされる。北海道では本種とよく似た種が多発がハマナスで観察されている。



1. タマカタカイガラムシの1種。雌成虫，体長5mm。1983/7.

小清水原生花園，ハマナス。

タマカタカイガラムシ

【学名】 *Lecanium kunoensis*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , カタカイガラムシ科 (Coccidae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州；朝鮮，北アメリカ（侵入）。

【宿主】 バラ科（サクラ，ウメ，スモモ，アンズ，リンゴ，カイドウ，ナシなど）。

タマカタカイガラムシの1種（写真1）（文献1983）

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , カタカイガラムシ科 (Coccidae)

【分布】 北海道。

【宿主】 ハマナス。

【生態】

小清水原生花園のハマナスからタマカタカイガラムシの1種として報告された種は，年1回発生，孵化は7月下旬から始まる。

【文献】

1977. 奥野孝夫，田中寛，木村裕. 原色樹木病害虫図鑑. 保育社，大阪. （形態，生態，防除の解説）

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会，東京. （分類，形態，寄主の解説）

*1983. 上条一昭, 駒井古実, 鈴木重孝. ハマナスを加害する害虫. 光珠内季報, 55:17-21. (ハマナスのタマカタカイガラムシの1種の報告)

1994. 河合省三. タマカタカイガラムシ. 小林富士雄, 竹谷昭彦編集, 森林昆虫, 総論・各論:421. 養賢堂, 東京. (形態, 生態, 防除) *1983. 上条一昭, 駒井古実, 鈴木重孝. ハマナスを加害する害虫. 光珠内季報, 55:17-21.

*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

タマカタカイガラムシなど kaigara/tamakata/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/5.

musi.JPG

「写真1」 鈴木重孝, 北海道立林業試験場, 1983.